

茨城工場 (IP) CSRLレポート

事業内容: 高圧ホース、シーリング材の製造

敷地面積: 152,000m²

従業員数: 310名 (2014年12月)

所在地: 〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西1番地

相談・苦情などの受付窓口:

工場管理課 松野 弘幸

TEL: 0299-46-1111

FAX: 0299-46-0235

メールアドレス:

hirokyu.matsuno@y-yokohama.com



工場長ご挨拶



久永 孝

茨城工場は、1973年日本最大規模の高圧ホース専門工場として操業を開始し、1997年には建築用シーリング材工場を稼働して今日に至ります。

当工場は、当社GD100の基本方針に基づき、「トップレベルの環境貢献企業」達成に向けた施策に取り組むとともに、茨城の豊かな自然との調和・融合と、その共生を目指し、地域貢献・社会貢献を行うことを環境方針に加え、各種の活動を推進しております。産業廃棄物の削減については、工程内不良削減をテーマとしたチーム改善活動の強化や、材料・設備の管理レベルを向上することにより成果を上げていま

す。省エネルギー活動では、省電力タイプの機械設備への更新、省エネの意識付け、ペーパーレス化などを全員活動で、積極的に展開しています。こうした活動が評価され、県が実施するエコ事業所登録制度において最高ランクのAAAを維持しています。

また、工場内の植樹は計画完了しておりますが、育苗活動を継続しており、地域の催しや震災の被災地の植樹活動への提供を行なっております。さらには昨年度より、生物多様性活動に着手し、園部川から霞ヶ浦までの水生生物の調査を開始しております。これらの活動を通して、地域社会とのコミュニケーションの向上を図っています。

茨城工場は環境マネジメントシステムをさらに強化し、環境貢献への取り組み、環境トラブルの防止を全従業員参加型の活動で進めていきます。

組織統治

意思決定プロセスと構造

工場安全文化の構築として、下記3項目を設定しています。

- (1) 3S (整理・整頓・清掃) を率先して行う
- (2) 大きな声で「挨拶」を行う
- (3) 時間厳守 (会議3分前に着席)

安全・環境・品質の工場方針は、会社の方針に基づいて設定しており、方向性については、会議体において決定しています。

人権

調達先の人権配慮

2014年2月に第3回CSR勉強会を開催し、23社24名の調達先に参加していただきました。今回は「当社のCSR調達の近況報告」「企業不祥事の発生原因とその対処方法について」「当社のコンプライアンス活動と相談事例紹介」に関して説明を実施しました。

苦情解決

コンプライアンス推進室への報告・相談はありませんでした。

労働慣行

安全・健康な職場環境づくり

労災は計2件発生しました。1件は、作業時に、メスの刃先による切創で、対策として作業手順書の改訂、対切創手袋の着用化を実施しました。もう1件は、ロッカー内の鉄板倒れによる接触で、ロッカーの撤去や材料・道具専用置場の設置等を実施しました。

労使関係・人材育成・訓練

定年退職後の生き方をテーマに、労使共催でライフセミナーを9月に開催し、13名が参加しました。

メンテナンス

26のサークルと職制チームごとに工場内で27のM/C（機械装置）を割り当て、2013年12月よりTPM（全員参加の生産保全）の第2ステップを展開しています。

事前診断は、各サークルリーダーと各指導員にて診断することで、他サークルリーダー・指導員のレベルアップを狙っています。本審査は、工場長と各課長、マイスター、生技係長、製造係長が診断シートによる現場確認を実施。また、改善・修理等が出来るよう保全マイスターによる技能実習も定期的に開校し、オペレーターの自主保全レベル向上に努めています。（今年度は37名の受講）

人材育成・訓練

新入社員・期間社員へは、先輩作業者をプラザーとして3年間配置し、

作業教育を行っています。1対1の教育を実施し、教育結果を振り返ることにより個人のスキルアップにつなげています。

障がい者雇用の推進

雇用促進のため、現在3名の障がい者の方が活躍しています。

仕事と生活の両立

水曜と金曜の週2日、定時退社日を設定しています（KT実施期間は月曜、火曜も設定）。2014年度は、短時間短日数勤務者7名、育児休暇取得者0名、リフレッシュ休暇取得者は3名でした。

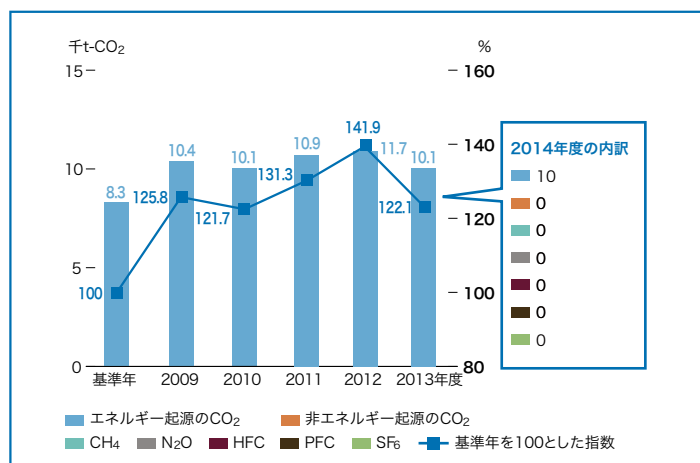
環境

環境データ

■温室効果ガス排出量の削減

・温室効果ガス排出量

2010年度から、漸減しています。



※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス（GHG）の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

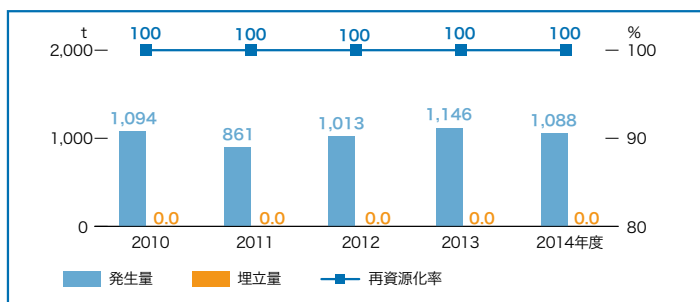
■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物発生量

2006年度より完全ゼロエミッションを継続しています。

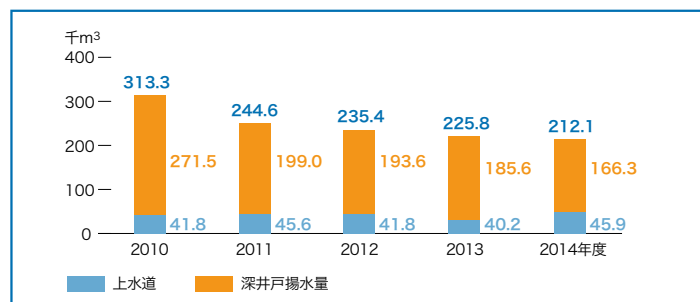
・廃棄物埋立量

2007年度に再資源化100%を達成し、その後継続しています。



・水使用量

年間22万5千トン使用しています。取水源の内訳は、地下水が約82%、水道水が18%となっています。



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

年間約44万トンに園部川に排水しています。

項目	規制値	自主管理値	2014年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.8～8.6	6.7～8.2	7.6	8.1	7.2
BOD濃度 (mg/l)	10	5.5	2.1	3.7	1.0
COD濃度 (mg/l)	10	5.5	2.5	5.1	1.4
SS濃度 (mg/l)	15	5.0	1.1	4.4	1.0
油分濃度 (mg/l)	3	0.8	0.5	0.5	0.5

※茨城県条例、小美玉市環境保全に関する協定
 ※排水先 園部川

環境データ

・土壌汚染

年に1回地下水分析（浅井戸）を実施しており、すべて法および小美玉市条例の基準値内であることを確認しています。

・大気汚染物質（NOx、SOx）

年に2回測定しており、すべて法および小美玉市条例の基準値内であることを確認しています。

項目	NOx	SOx
排出量（t/年）	2	0.4

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2014年度実績		
				平均値	最大値	最小値
茨城工場 ボイラー	硫黄酸化物（K 値）	13	10以下	0.29	0.48	0.19
	窒素酸化物濃度（ppm）	260	125	65	87	54
	ばいじん濃度（g/m ³ N）	0.3	0.1	0.0013	0.002	0.001

※大気汚染防止法、小美玉市環境保全に関する協定

化学物質の管理状況についての報告

副資材・補助材関係はSDSを対象化学物質の有無を確認し、PRTR法で定められた量の取り扱い物質について年1回、国（県）への報告と安全性影響度評価を行っています。

騒音対策

毎月1回、工場敷地境界線15カ所で騒音測定を行い、小美玉市条例の基準値内（55db以下）であることを確認しています。

汚染防止

環境リスクの未然防止として、予想される緊急事態の訓練・テスト（重油タンクからの油漏れ、運搬中の溶剤缶の転倒等）を1回／年行っています。

産業廃棄物の削減取り組み

産廃物削減については、MD（ムダ取り）活動を通し、ゴミの分別の見直しやペーパーレス化を推進しています。製品に付随する副資材は、欧州ELV指令／RoHS指令非含有宣言書入手し、該当成分が含有されていない物品を購入しています。

気候変動の緩和と適用

省エネルギー活動として、高効率エアコンやモーターの採用、断熱保温の水平展開を推進しています。

環境保護・自然生息地の回復

当工場の排水を流している園部川に対し、生物多様性保全活動を、3回／年実施しました。水質・水中生物・植物・鳥類などのモニタリングと植物・水中生物の外来種の一部駆除を行いました。今後も外来種の駆除とモニタリングを3回／年、継続して実施する予定です。

法令順守の徹底

下請取引改善講習会に参加しました。

調達先での労働・安全・職場配慮

公正、透明、自由競争、適正取引を行っています。

コンプライアンス徹底

第3回CSR勉強会で、「弊社のCSR調達の近況報告」「企業不祥事の発生原因とその対処方法について」「弊社のコンプライアンス活動と相談事例紹介」に関して説明を実施しました。社内教育として、「コンプライアンス職場学習」を実施（1回／月）しています。

苦情などへの対応

製品に関わる苦情が発生した場合は、迅速に現品を取り寄せ、調査、報告書を作成し、お客さまが納得していただけるよう対応しています。

ユニバーサルデザイン推進

製品に印字するブランドマークについては、消費者を惑わさないよう、タイヤと同一の新タイプに集約する活動を開始しました。



地域との共存共栄

工場外部 11 名、内部 7 名参加し、4 月に生物多様性住民懇談会を開催しました。

雇用の創出

工場隣地の小学校4年生を対象とした交通マナー講和を開催し、安全教育を実施しました。(6月)

地域貢献

小美玉市ふれあい祭りに出店し、苗木1,690本を無償配布、岩手県大槌町植樹会に苗木1,805本を提供し、4名がボランティアで参加しました。社会福祉法人「進和学園」へ、苗木18種13,253本の無償提供を行い、各地の植樹会に進和学園から苗木が提供され、東北の復興・森の再生に役立っています。

地域社会とのかかわり

生物多様性保全活動の住民説明会を4月に初めて行いました。ホース工場見学を通して、参加者から「近くに居ますが、初めて何をつくっているのか分かりました」等、茨城工場への近親感や環境活動と生物多様性保全活動のご理解を深めることができました。

工場見学

近隣地元高校を対象に工場見学を開催し29名が参加しました。近隣地域とコミュニケーションを推進しています。